



○思いを胸に・・・

鳥根県高校総体の様子⇒

昨年度中止になった高校総体が、今年度は開催され無事終わりました。大会運営をされた関係者のみなさまをはじめ、開催を信じて日々努力してきた選手のみなさん、それを支えてきた指導者や保護者、そして地域の方々に拍手と感謝の気持ちを送りたいと思います。三刀屋高校及び掛合分校が出場する競技の会場に、剣道のオンライン中継も含めすべて行くことができました。三刀屋高校の校歌の最後に、「われらの三高ここにありと ひとしくともに誇るべし」とあります。三高プライド、カケコープライドを胸に、仲間を信じ、これまでの自分の努力を信じて、ひたおきに精一杯最後の最後まで全力で試合をする選手たちに胸が熱くなりました。3年生のみなさん、3年間本当におつかれさまでした。



自分ごとですが、高校総体後の6月中旬に、ここ4～5年参加してきた隠岐の島ウルトラマラソンが昨年につづき今年も中止になりました。開催を信じてこれまでトレーニングしてきたので、とても残念です。実は、今年の今頃は走る気力も失っていました。再度やる気を起こすきっかけくれたのは隠岐の高校生たちでした。中止の決定からしばらくして、隠岐の島町からカレンダーが送られてきたのです。カレンダーには、7月の「汽船場での

スタート風景」を皮切りに、10キロごとの写真で作成されており、6月はゴールシーンになっていました。その日、その月に走った距離も書けるようになっていました。ランニングのアドバイスや調整方法なども大会に向けて月ごとに段階的に書かれていました。この発案をしたのが隠岐の高校生で、町と協力して作成し、エントリーした選手全員に無料で送ったのだと知りました。その思いがこもったカレンダーに胸が熱くなり、トレーニングを再開して、この気持ちに伝えようと思ったのです。土日を含めた休日に走るだけですが、走らなかった休日はこの1年間で数日しかありません。それまでは、なにかと理由をつけて走らない休日もありましたが、この1年は違いました。隠岐の高校生や隠岐の人たちの思いに伝えようと思いが強くなったからだと思います。



右下の写真は、ゴールまで5キロほどの岬の道路で、ここに来ると眼前(奥)に西郷湾がきれいに見えてきます。ここまでがんばったご褒美の景色です。5月のマラソンのカレンダー(左上)にもなっています。隠岐に単身赴任していた時のランニングコース上にあり、隠岐でもっとも好きな風景の一つで、それを知る友人が町のカレンダーの風景写真に推薦し採用されたこともありました。この写真は、中止となった開催日の、おそらく私が通過したであろう夕方時刻に撮影されたものです。隠岐に初任で赴任した時の教え子が、「来年の今頃ここで会いましょう」と送ってきてくれました。残念ながら、それは来年になりそうです。この岬では、前にも書きましたが、沿道の方々が、「おかえり」「よくがんばったね」と声をかけてくれます。スタートから公設だけでなく私設のエイド(給水給食所)がたくさんあるのですが、つかれた体を気遣って、岬では甘いコーヒーやおにぎりなどランナーを思って色とりどりの料理や飲み物、果物がふるまわれます。ここで食べた甘い卵焼きの味は今でも忘れません。手にゴミを持っていると受け取ってくれます。コールドスプレーを無償でいろんな人が渡してきます。気遣いの嵐です。これが延々と50キロ、100キロ続きます。いろんな人に支えられて生きていること、頑張り続けていることを実感する道のりです。



総体を終えた選手も今同じ思いではないでしょうか。思いを胸に次に向かってがんばって欲しいと思います。